

### 市長コラム

しんげの一言メッセージ

#### 1200年前の大地震

本庄市は昔から地震被害の少ない地域だと言われます。至るところに江戸期や明治期の建物が多数現存しており、7年前の東日本大震災、また大正12年(1923)の関東大震災においても地震そのものの被害はほとんどなく、大地震による大きな被害の記録は江戸期にさかのぼってもありません。このような事からでしょうか、本庄周辺は「大きな地震はない」と言われております。

しかし大地震ではなかったものの、今から87年前、昭和6年(1931)の西埼玉地震では、当時の藤田村、児玉町、共和村で建物が倒壊し人的被害も出ています。そして遠い過去にさかのぼると、当地域周辺にも大きな被害を出した大震災の記録があるので。

それがちょうど今から1200年前の弘仁9年(818年)7月(旧暦)、現在の北関東一帯で発生した大地震(弘仁地震)です。菅原道真が編纂したとされる『類聚国史』記載の『日本後紀』によれば、その被害は非常に広範囲で今の関東内陸部一帯に及び、特に被害がひどかったのは上野国とその境(今の群馬県と埼玉北部を含む周辺)で、山崩れにより谷が埋まり、圧死した人々が多数、と

記録されています。

近年、多くの研究者の努力によって、赤城山の南面において、この地震によると思われる土砂災害や二次災害の洪水の痕跡が多数発見され、また深谷市などでは液状化現象の痕跡が発見されました。さらに上野、武蔵両国にあった寺院跡や住居跡にも被害の痕跡が多数確認されています。歴史書が考古学的に裏付けられたのです。

当時の朝廷は税を免除し、被災地救済に当たったと記録にありますが、それでも田畑の復旧には数十年の歳月を要したようです。関東内陸に未曾有の大被害をもたらした事は紛れもない事実で、当地域も例外ではなかった事でしょう。

東日本大震災の大津波も1149年前の貞観地震とその津波の再来と言われます。「本庄に大きな地震は来ない」は安全神話です。大地震は必ず来ると肝に銘じて防災対策に当たってまいりましょう。

本庄市長 **吉田信解**

### お知らせ

#### 防災対策は万全ですか？

災害は「まさか」ではなく「いつか」起きるものという意識を持ちましょう。

#### ◆負傷原因1位は家具倒壊

「家具は必ず倒れる」と考え、寝室や子供部屋に家具を極力置かない、家具の向きや配置の工夫、床や壁に固定など対策をしましょう。

#### ◆備蓄品の準備

救助が来るまでの数日間、生活ができるように避難用具や食料を備えましょう。

リュックサックなどの両手が見える袋に入ると便利です。上下水道が止まる可能性があります。飲料水はひとり当たり1日3リットルの準備が目安です。

#### ◆家族との連絡方法

家族がそれぞれ別の場所にいるときに災害が発生した場合の連絡方法や集合場所を話し合っておきましょう。災害用伝言ダイヤルや携帯電話伝言板サービスの他に、SNSに自分の状況を投稿する方法もあります。

★危機管理課 ☎1184

#### 本庄分署新庁舎が完成 防災拠点の完成を祝う



6月9日、児玉郡市広域消防本部中央消防署本庄分署新庁舎の落成式が開催されました。

本庄分署は本庄市中央に昭和40年に建設されましたが、施設の老朽化、敷地の狭さや傾斜の問題を抱えていました。

新たな庁舎は国道17号の北側に位置し、延床面積は873.04㎡。非常用電源設備や訓練スペースなど新しい機能を加え、本庄地域の災害対応や消防の拠点として生まれ変わりました。

#### 土砂災害に対する全国防災訓練 避難体制強化と防災意識を向上



6月3日、児玉町高柳の土砂災害警戒区域を対象に、児玉警察、児玉郡市広域消防本部、地元消防団協力のもと防災訓練が市民約40名が参加し行われました。

訓練では、住民への避難指示から実際に避難するまでを実践的に行いました。避難後には、棒と毛布を使った簡易担架の作成方法、消火器の使用法、AED講習などを行い、参加者からは、「心臓マッサージ時の力加減は？」など積極的に質問も出されていました。

#### まちかどSnap



5月26日、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会総会共生社会をテーマに講演

総会後には、全盲の中学校教諭・新井淑則さんによる「心はいつもバリアフリー」と題した講演会が開催されました。新井さんは全盲でありながら中学校の教諭として復職するまでの苦労を語り、「生徒には、障害者と身近に接することで、将来に役立ててもらいたい。色々な人がいるのが当たり前の社会になって欲しい」と語りました。

#### 本庄市くらしのガイドブックを発行します

毎日の生活に役立つ行政情報や地図情報などを掲載した「くらしのガイドブック」を作成しました。

この冊子は官民協働事業により(株)ゼンリンと協働発行し、企業・事業者などからいただいた広告掲載料をもとに作成したものです。

7月13日(金)以降、各自治会を通じ毎戸配布するほか、新規転入世帯に市民課・市民福祉課窓口で配布します。

#### ★広報課 ☎1155

**文月ふぶきの和菓子**

☆本庄利根の清流 **くずきり**  
こしのあるめんの喉ごしと黒糖の深い味わい。

☆武州、本庄はにわ煎餅  
細かな落花生を生地に混ぜ芳ばしく焼き上げた卵煎餅

TEL. 0495-22-2315 定休日: 7/4(水), 10(火), 11(水), 18(水), 25(水)

**サマージャンボ宝くじの発売**

今年のサマージャンボ宝くじの賞金は、1等・前後賞合わせて7億円。同時発売のサマージャンボミニは、1等・前後賞合わせて7,000万円です。

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

発売期間 7月9日(月)～8月3日(金)

★(公財)埼玉県市町村振興協会 ☎048-1822-5004

**お客様のライフプランをきめ細かくサポート**

夢を語ろう、手をつなごう。

**しのめ信用金庫**

本庄支店 本庄市駅南1-13-10 TEL: 0495-21-2222

※声の広報(録音CD)の貸し出しは、図書館本館・児玉分館・広報課へ。また、市ホームページでも聴くことができます。★広報課 ☎1155